



平成20年8月11日

各 位

株式会社アルプス技研
IR・広報室

平成20年12月期中間期(平成20年1月1日～平成20年6月30日)業績の概況及び
平成20年12月期通期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の業績ならびに配当予想について

株式会社アルプス技研の平成20年12月期中間期(平成20年1月1日～平成20年6月30日まで)業績の概況及び
平成20年12月期の通期業績予想ならびに配当予想につきまして下記ご説明申し上げます。

【I】平成20年12月期中間期(平成20年1月1日～平成20年6月30日)連結業績

(1) 連結業績の主要数値(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 中 間 期	[前 中 間 期 比]
売 上 高	113億8,700万円	[2億6,500万円増、2.4%増]
営 業 利 益	7億5,500万円	[5,600万円減、6.9%減]
経 常 利 益	7億8,000万円	[3,900万円減、4.8%減]
中 間 純 利 益	4億7,200万円	[7,800万円減、14.2%減]

(2) 事業のセグメント別売上(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 中 間 期	[前 中 間 期 比]
アウトソーシングサービス事業	112億2,400万円	[4億1,100万円増、3.8%増]
そ の 他 事 業	1億6,200万円	[1億4,600万円減、47.4%減]

平成20年12月期中間期連結売上高成長率は、アルプス技研の「モノづくり事業」縮小(昨年7月)の影響等により「その他事業」の売上は、前中間期比47.4%減となりましたが、「アウトソーシング事業」の堅調な売上により連結総売上は前中間期比2.4%の増収となりました。なおエンジニアリング事業を行い「アウトソーシング事業」売上の3%強を占めるアルテックシャイン(通称「アルテック台湾」)の当中間期売上高は、前中間期の大幅な受注増(前中間期売上成長率は272.4%増)の反動によって12.1%減となっています。

損益面では連結対象子会社のうち、アルプスビジネスサービスにおいて採用した外国人技術者の稼働までの先行コスト、アルテック台湾の前年同期の反動などによって、営業利益、経常利益、中間純利益ともに減益となっています。

【II】平成20年12月期中間期(平成20年1月1日～平成20年6月30日)個別(アルプス技研)業績

(1) 個別(アルプス技研)業績の主要数値(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 中 間 期	[前 中 間 期 比]
売 上 高	93億8,500万円	[2億8,100万円増、3.1%増]
営 業 利 益	7億1,700万円	[1,400万円増、2.1%増]
経 常 利 益	7億6,200万円	[900万円増、1.3%増]
中 間 純 利 益	4億4,600万円	[400万円減、0.9%減]

(2) 個別(アルプス技研)事業のセグメント別売上(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 中 間 期	[前 中 間 期 比]
アウトソーシングサービス事業	93億4,500万円	[4億1,300万円増、4.6%増]
そ の 他 事 業	3,900万円	[1億3,100万円減、76.9%減]

平成20年12月期中間期のアルプス技研売上高は、「モノづくり事業」縮小(昨年7月)の影響により「その他事業」売上高が前中間期比76.9%減となりましたが、技術者派遣を主流とする「アウトソーシングサービス事業」売上高は前中間期比4.6%増と依然好調で、個別総売上は前中間期比3.1%の増収となっています。

株式会社 アルプス技研

損益面では「アウトソーシングサービス」のなかで比較的利益率の高い技術者派遣による売上が好調(前中間期比 5.2%増)で、販管費増を吸収し、営業利益、経常利益は前中間期比で増益となりましたが、税調整の影響により、中間純利益はほぼ横ばい(前中間期比 0.9%減)でした。

なお 4 月に入社した新卒技術者(198 名)は 6 月で 134 名の人員が稼働(人員稼働率 67.7%)しておりますが、半導体を中心にきわめて早期の稼働となった前年同時期(同 86.8%)は下回っております。

(3) 売上高上位 100 社による主要業種別売上高構成(総売上高の 81.1%)

(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当中間期売上高	前中間期比	売上高構成比	
			当中間期	前中間期
輸送機器(含む部品、ナビ・オーディオ)	22億1,700万円	7.8%減	29.5%	33.5%
精密機器	18億4,200万円	0.3%増	24.5%	25.5%
家電	10億9,800万円	26.0%増	14.6%	12.1%
半導体	9億700万円	3.4%増	12.1%	12.2%
ソフト開発	2億9,600万円	3.8%増	3.9%	4.0%
その他(携帯電話、通信等)	11億6,800万円	27.7%増	15.4%	12.7%
100 社合計	75億2,800万円	4.7%増	100.0%	100.0%

当中間期の特徴としましては、デジタル家電製品の設計・開発ニーズによる家電向け売上が前中間期比 26.0%増となりましたが、半導体につきましては 80.2%の成長を見せた前中間期と比較し、一服感がありました。

(4) 派遣稼働率、派遣稼働時間、派遣単価

	全派遣技術者平均		除く新卒派遣技術者	
	当中間期	前中間期	当中間期	前中間期
稼働率	93.2%	93.5%	96.7%	95.9%
稼働時間	176.4H/月	178.3H/月	176.9H/月	179.0H/月
単価	3,680円/H	3,607円/H	3,727円/H	3,619円/H

派遣稼働時間の減につきましては、顧客サイドにおける労働時間短縮の影響が出ております。派遣単価につきましては、より付加価値の高い業務へのローテーションを進めた結果、引き続き上昇しました。

【Ⅲ】平成 20 年 12 月期通期(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)業績並びに配当の予想について

平成 20 年 12 月期通期業績予想は、昨年下半年期において赤字となっておりますが、当中間期は赤字幅の縮小や黒字化などがあり、現在想定しうる範囲内で下記のとおりといたします。

(下記通期業績予想は、最近の業績動向を踏まえ平成 20 年 2 月 13 日に公表した予想数値のうち連結、個別共に売上高が異なっております。なお実際の業績等は諸般の情勢変化等により本予想と異なる場合があります。)

平成 20 年 12 月期(平成 20 年 1 月 1 日～12 月 31 日)業績予想 (金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	連 結		個 別(アルプス技研)	
	予 想	[前 期 比]	予 想	[前 期 比]
売上高	232億円	7億2,600万円増、3.2%増	193億円	6億6,300万円増、3.6%増
営業利益	17億2,000万円	1億1,100万円増、6.8%増	16億5,000万円	7,000万円増、4.4%増
経常利益	17億5,000万円	1億7,300万円増、11.0%増	17億3,000万円	8,100万円増、4.9%増
当期純利益	10億5,000万円	9,100万円増、9.4%増	10億円	5億700万円増、102.8%増

また年間配当予想につきましては、連結業績連動で配当性向 50%ルールに則った1株当り年間配当48円に加え、当社創業40周年記念配当として、1株当たり10円を増配させていただき、年間配当金を1株当たり58円(中間期 20 円、期末38円)と予想いたします。(別途平成 20 年 8 月 11 日付「創業 40 周年記念配当に関するお知らせ」をご参照下さい。)

以上